

令和4年度 京都大学研修

日 時 令和4年8月4日（木）～8月5日（金）
場 所 京都大学
参加者 1年国際理学科 40名
講 師 京都大学経営管理大学院
小林 潔司 特任教授 原 良憲 教授
Spring Han 准教授 嶋田 敏 講師
TA（ティーチングアシスタント）大学生8名

1年国際理学科の生徒にとって初めての発表となる課題研究発表会を、京都大学で行いました。1泊2日の研修に先立ち、TAの大学生からの事前指導を2回受け、1日目の午後に、さらに4時間の指導を受けました。宿舎では、さらに2時間の夜研修を行いました。



2日目の午前に課題研究発表会を実施しました。パワーポイントによるスライド作成、本番の口頭発表、質疑応答を、各班20分の持ち時間で行いました。生徒たちなりに完成させた作品をつくったつもりでしたが、研究の進め方、仮説の設定、データの扱い方、データ処理後の考察、スライド表示、発表態度など、多方面にわたり、有意義な指導助言をいただくことができました。限られた時間の活動による成果の発表でしたが、全般的には先行研究や下調べの浅さなどが目立ちました。

今後は、これらの助言を生かして自分たちの班の研究を深化させるほか、先輩の作品や発表会の聴講などを通して、データサイエンス全般に関する理解を深めて欲しいと思います。

貴重な研修の場を準備、提供していただきました京都大学関係者の皆様に感謝を申し上げます。



京都大学研修 課題研究発表会 テーマ一覧

- 1班 野菜の生産に影響を与える環境条件とは
- 2班 医療崩壊を防ぐためには
- 3班 幸せの要素
- 4班 過疎化と地域おこし
- 5班 英語力と相関があるものは何か
- 6班 健康寿命が長い都道府県の共通点とは
- 7班 ドクターヘリの効率の良い配置の仕方
- 8班 幸福と因子